

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|------------------|-----|------|-----------|--|
| 法人名 | 株式会社花の器 | 代表者 | 檜山 真 | 法人・事業所の特徴 | 鹿沼市南部の田園地帯の一角にグループホームと併設で、平成24年4月に設立。「あなたらしく」あり続けるために、介護者として必要な力量を兼ね備えられるよう成長を目指すことを、理念としています。常に真摯に向き合い、要望に対して最大限応えることを基本とし、地域に輪を広げながら家族と共に「あなた」を支えていく事業所です。 |
| 事業所名 | 小規模多機能型居宅介護施設花の器 | 管理者 | 檜山 慈 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 人 | 3人 | 人 | 9人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|--|--|--|---|
| A. 自己評価の確認 | 自己評価の「次回までの具体的な改善計画」を達成できるよう、目標を立て、達成度合いを測る仕組みを作る。 | 新規利用者の方と積極的にコミュニケーションを取り情報を得よう努めた。利用者一人一人のしたいことの実現に向け担当者は目標を立てた。個々の生活実態に必要な支援を提供することが出来た。 | コミュニケーションを取り情報収集に努めている。情報を共有して利用者に対応している。出来ていない点を反省し次の課題として取り組んでいる点は良い。 | 自己評価で「できていない点」にあがった項目に対し、目標と具体的な行動計画を掲げ、実践していく。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 利用者の個性や相性などを考慮し、落ち着いて生活できる環境と活動的に過ごせる場の提供に努める。 | 利用者間の相性や認知症の症状に応じて模様替えや座席の配置に気を配った。絵画などの文化的活動の提供や、パターゴルフや身体を動かすゲームを行った。また、転倒防止にベッドの配置や手すりの設置の他に、センサーを置き動きに応じて素早く介助にあたった。 | 会議で報告される生活状況から施設内が良い雰囲気であることが分かる。 | 利用人数に対し限られたスペースをどのように有効活用するかを考えて環境を整えていく。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 感染対策を取りながらマイチャレンジ(中学生の職場体験)の受け入れや、地域の行事へ積極的に参加する。 | 中学生のマイチャレンジを受けて交流することが出来た。自治会主催の行事へも参加した。季節の行事や生活の様子は「咲くやこの花」を自治会の回覧版とご家族への配布し、Facebookでも発信しお知らせした。 | 中学生の職場体験や交流学習も再開できた。利用者が地域とつながりながら事業所自体が地域の一人として交流できるよう期待する。 | 地域が求める施設とは何かを考え、地域に貢献できることを実践していく。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 外出支援を増やし自宅における生活が充実したものになるよう支援する。 | 自宅での生活を重視し訪問件数を増やしてきた。外食や買い物の同行など個々のニーズに合った支援内容に努めた。地域の方々との関係も良好であり、庭に咲くお花をいただいたり、農家の方から野菜をいただくことも多かった。 | 感染対策をしながら少しずつ地域との交流や行事に参加でき良かった。広報誌でも喜びの顔が見える。コロナが終息したならばもっと地域資源を使って欲しい。 | 心身の機能低下に伴い自宅へこもりがちになってしまうので、外出の機会を増やし地域資源とのつながりにも努める。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 委員の皆様からのご意見を介護スタッフに伝達し、日々の介護に生かせるようにする。 | 委員の皆様からご意見・ご助言は都度職員に伝達した。防災対策や地域の行事参加につながった。 | 家族以外の地域との関わりは希薄であるから交流を期待する。利用者に関わる時間を増やす工夫をして欲しい。 | 本人・家族・地域のご意見を取り入れた施設運営に努める。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | 夜勤者全員を対象とした夜間の避難訓練を実施する。医王寺に利用者を車に乗せて避難訓練を実施する。 | 夜間を想定した避難訓練を実施した。医王寺にも利用者さん行って避難所となる建物を見て来た。食糧・衛生用品等の備蓄も行った。清州コミセンとの協定書も交わしてある。 | 防災・災害対策は施設にとって一番心配される問題であるから、避難方法を全職員が身につけて欲しい。 | 避難訓練の実施と、隣接する施設との連携強化に努める。 |